



環境公共 通信



第57号 令和5年3月
発行/環境公共推進会議事務局
〒030-8570 青森市長島1-1-1
青森県農林水産部農村整備課内
TEL 017 (734) 9545 FAX 017 (734) 8153

■最近の話題

あおもりの農業・農村を支える仕事ができるパンフレットとPR動画が完成しました

近年、建設業、測量設計コンサルタント、土地改良区、土地改良事業団体連合会等の土地改良関連業種においても、高齢化等による人手不足は深刻となっており、それに加えて、県内農業土木関係の学生の県内就職率が低く、県外への人材流出が問題になっています。

このため、県では、若手技術者の確保を図るため、県重点事業「土地改良人財確保推進事業」により、令和3年度に引き続き、学生向けのPR動画を制作するとともに、令和4年度はパンフレットも作成しました。

今年度制作した動画は、青森県農業農村整備中期推進方針である「あおもりの水土づくり推進プラン」の3つの柱に沿って、「ほ場整備」「農道整備」「排水路整備」の工種別としたほか、土地改良施設の歴史と役割を伝えるため、世界かんがい施設遺産に登録されている「土淵堰」^{どえんげき}「稲生川」^{いなおいがわ}に関する内容となっています。

また、パンフレットでは、建設会社をはじめとした若手技術者へのインタビュー内容を掲載しており、各業種の仕事や現場の生の声ができる内容となっています。

なお、動画とパンフレットは県庁ホームページで公開していますので、ぜひご覧ください。

(県庁HP : <https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/nourin/noson/index.html>)

弘前大学に「つなぐ棚田遺産」感謝状が贈呈されました

棚田地域の維持・保全・振興等に貢献する企業・大学等の取組実績を積極的に評価し、棚田地域における多様な主体との連携や協力を促進することを目的として、令和5年3月9日、農林水産省主催による「つなぐ棚田遺産」感謝状の贈呈式が行われました。

県内からは弘前大学が推薦されており、同大学では、平成26年度から黒石市大川原地区の地域づくりの支援を行っており、同地区が県内初の指定棚田地域として指定された際も地域の話合いや計画づくりを主導・助言してきたほか、指定後も棚田地域振興協議会に加わり、学生も交えた支援を積極的に行ってきたことが評価されました。本県としても、このような取組を支援するとともに、積極的に棚田地域の振興を図っていきたいと考えています。



制作した動画の一部



作成したパンフレット



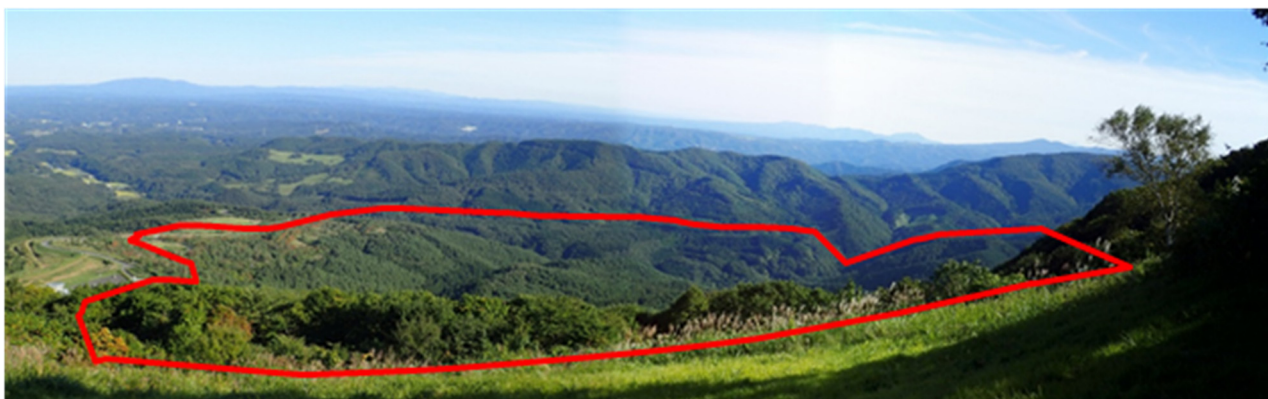
贈呈された感謝状

■「環境公共」事例紹介

滝ノ又地区(三戸郡田子町)～大黒森地区環境公共推進協議会の取組～

1 地区の概要

本地区は、田子町北部の上水道取水施設「青比良水源」の上流域に位置する約170haの森林です。水源かん養保安林としての機能の発揮が求められますが、荒廃した溪流や森林から流出した土砂が下流の農業用水路に流出したことや、上水道の取水量が減少傾向にあったことから、平成28年度から水源森林再生対策事業、令和4年度から流域保全総合治山事業を実施しています。



大黒森山展望台より計画地全景

2 森林の保全活動

地域の活性化と持続的な森林の保全維持を目的として平成28年度に設立された「大黒森地区環境公共推進協議会」は、地域住民の参加による植樹祭や育樹祭を毎年度開催しています。

今年度は、令和4年6月24日に植樹祭を開催し、今年度末で閉校となる清水頭小学校に縁のあるカツラ等を植樹しました。あいにくの天気により児童は植樹見学となりましたが、屋内での森林クイズや雨の合間に記念撮影を行うことができました。



環境公共プロフェッショナルによる森林クイズ



カツラの苗木を囲んで記念撮影

3 今後の取組

本協議会は、今後も引き続き、植樹祭等の開催による地域の森林の保全活動を継続し、地域住民と一体となった「きれいな水」の確保に努めていきます。